



連携事例29

R5.8 更新

# 金谷ブランディングプロジェクト



金谷旅行ツアーでの様子

## ■協働パートナーの種別

NPO	企業	行政	教育	地縁
-----	----	----	----	----

## ■事業運営団体

・ザ・フィッシュ

## ■協働パートナー

- ・千葉大学
- ・東日本旅客鉄道株式会社千葉支社君津駅

## ■事業費

ツアー料金

## ■資金調達手段

助成金・利用料等受益者負担・運営団体負担

## 事業概要

コロナ禍において、産業としてダメージを受けた観光業・飲食業・鉄道輸送業が力を結集し、“海と山と石の街”金谷に着目し、現地調査を通じ再認識した魅力を活かして金谷の特性を活かした地域再生・活性化のためのブランディング事業を興しました。金谷の風景とゆっくりと流れる「時」という魅力様々な人に知ってもらうため、初期段階として食に着目し、鋸山でのワイン貯蔵に挑戦しています。金谷のブランド力を高め、持続可能なまちづくりを目指し、常に話題性を持つプロジェクトを企画していきます。

## 協働までの経緯

地域再生・活性化には観光業を中心としたハードとソフトを総合した事業を確実に行う必要があります。そこで、長年金谷で観光事業を行ってきた団体とまちづくりのノウハウを持った大学が協働することによって持続可能な事業を企画・運営することを可能にしました。さらには鉄道インフラや宣伝力のある企業とも協働し、より多くの人に金谷の魅力を知って訪れてもらうことを目標としています。

## 主な事業内容(年間スケジュール等)

- ① 金谷街歩き調査 (2017年6月)
- ② ワイン貯蔵 (2018年1月から開始)
- ③ ワイン貯蔵棚設置 (2020年9月)
- ④ JR東日本金谷ツアー (2020年より毎秋開催)

※上記の他、随時、ワイン貯蔵を行っています。

## 主な協働パートナーとの役割分担

【大学】千葉大学

まちづくりのため調査・分析し、企画立案・実施を担当しています。

### 【企業】ザ・フィッシュ

金谷の主要な観光事業者として、海と山を意識し地元の特徴をいかした魅力ある物や場所・情報を提供します。

### 【企業】東日本旅客鉄道株式会社千葉支社君津駅

鉄道インフラと宣伝力を持ち、多くの人を招くことで地域全体の活性化や企画の円滑な実行をします。

## 協働事業によって生まれた成果

コロナ禍であります。各団体が連携することにより、プロジェクトを実行することができました。また、継続的に事業を行うための準備も現在続けています。各連携団体が得意とする分野で企画に関わることにより、効果的に宣伝・運営をすることによって、ツアーでは多くの方に金谷を知ってもらい、好評をいただきました。

## 今後力を入れていきたいこと

- 力を入れていきたいこと1  
金谷旅行ツアーの定期的な実施
- 力を入れていきたいこと2  
貯蔵ワインの商品化・販売促進

## コラボのコツ!!

- ★コツ1 それぞれの強みを活かす
- ★コツ2 意見交換を行う
- ★コツ3 協働マネジメントを行う

### コツに関するコメント

観光業による地域再生・活性化にはハード面とソフト面の両面の事業を確実に行うことが欠かせません。そこで、協働する際にはそれぞれの強みを活かすことが重要です。ハード面・ソフト面から多くの意見を集め議論することによって地域にとってより良い企画を提案・実行することができますと考えます。また、目標となる活動の方向性を一つにまとめるために長期間関わりを持つ団体が協働マネジメントを行うことが重要です。



海と山を楽しむ金谷の風景



ワイン貯蔵庫内の様子

## 協働事例プロフィール

【活動開始年】平成29年6月

【活動のPR手法】研究室HP (<https://suz-hiro.wixsite.com/suzukilab-archi>)

JR 東日本（千葉県・東京都中心）各駅での観光パンフレット・ポスターによるPR

【この事業で活用した補助金】 千葉銀行「ちばぎん研究開発助成制度」

【問い合わせ先】 担当者：鈴木弘樹

メールアドレス：[suz-hiro@faculty.chiba-u.jp](mailto:suz-hiro@faculty.chiba-u.jp)